

将来のまちの姿を考えるワークショップ

【実施報告書】

平成31（2019）年1月

島 本 町

目次

1	ワークショップの概要	1
	(1) ワークショップの目的	1
	(2) ワークショップについて	1
	(3) ワークショップ参加者	1
	(4) ワークショップの全体像	2
2	ワークショップ内容（第1回）	3
	各グループの検討結果（⇒まちの魅力と課題を検討）	3
	Aグループの検討結果	3
	Bグループの検討結果	4
	Cグループの検討結果	5
3	ワークショップ内容（第2回）	6
	各グループの検討結果（⇒まちの将来像、必要な取組などを検討・発表）	6
	Aグループの検討結果	6
	Bグループの検討結果	8
	Cグループの検討結果	9

1

ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

第五次島本町総合計画の策定にあたり、住民の方々から、まちの魅力や課題、今後のまちの姿などについてご意見をいただき、計画策定に役立てていくため、「ワークショップ」を開催しました。

(2) ワークショップについて

ワークショップとは、さまざまな立場の方が、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見などをまとめ上げていく方法です。

今回のワークショップでは、参加者が3つのグループに分かれ、各回のテーマに沿って今後のまちづくりについて話し合い、カードや模造紙への記入などの作業を行いながら、意見をまとめていきました。

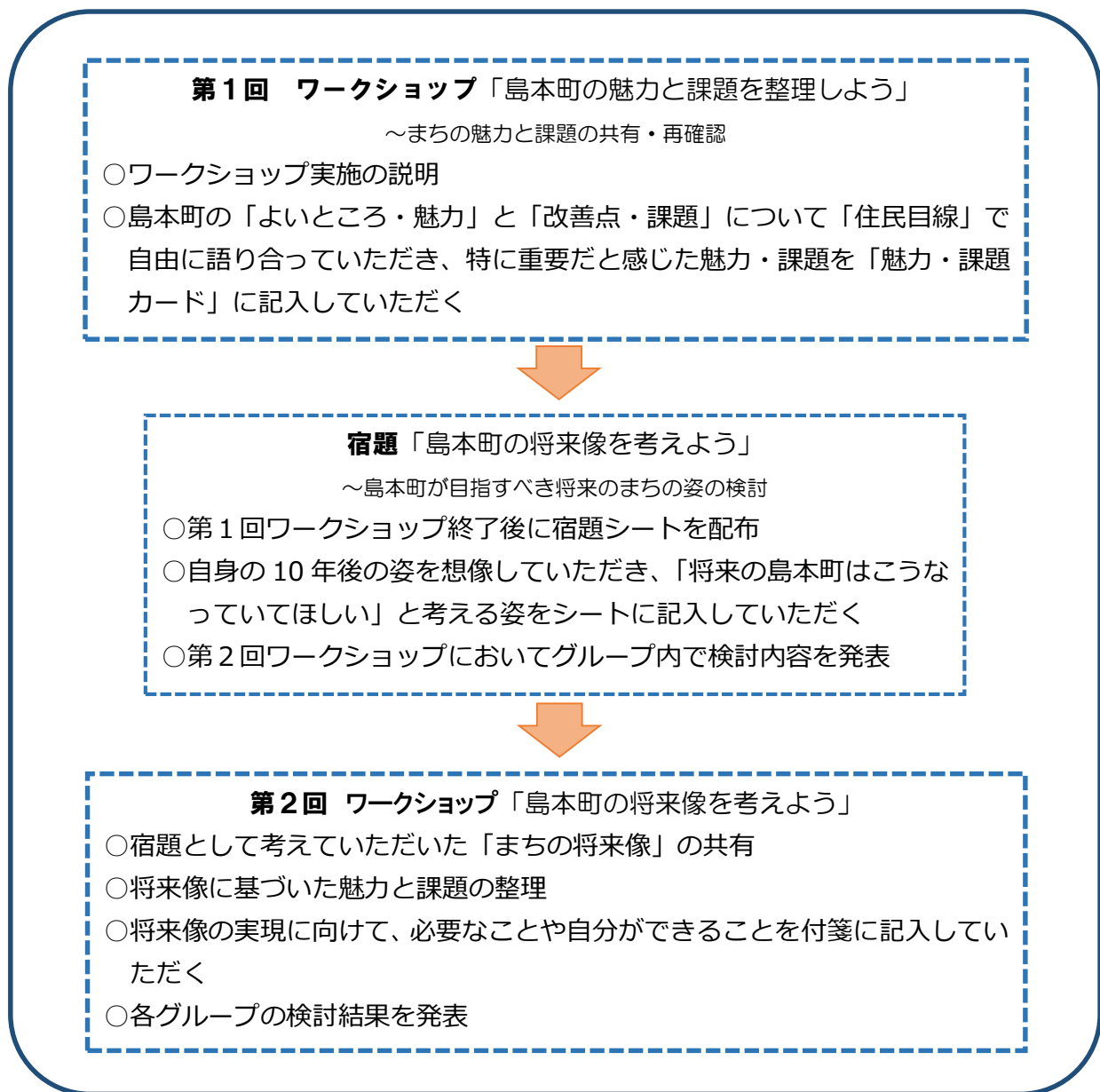
(3) ワークショップ参加者

本ワークショップには、計16名の住民の皆様にご参加いただきました。

属性	人数
町内の関係団体から推薦を受けた方	10名
公募による住民の方	6名



(4) ワークショップの全体像



■ワークショップの内容及び開催スケジュール

	開催日時	場所	テーマ
第1回	平成30年 11月11日(日) 10:00~12:00 参加者数16名	島本町役場 3階 委員会室	「島本町の魅力と課題を整理しよう」
第2回	平成30年 11月17日(土) 10:00~12:00 参加者数16名		「島本町の将来像を考えよう」

2

ワークショップ内容（第1回）

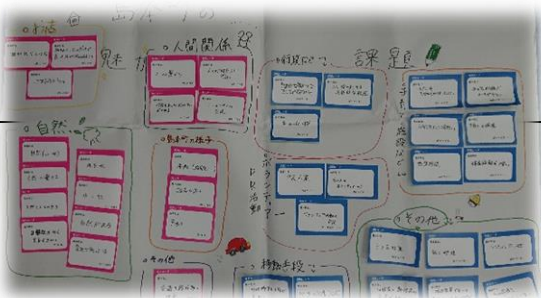
各グループの検討結果（⇒まちの魅力と課題を検討）

Aグループの検討結果

よいところ・魅力	改善点・課題
<p>▼人・コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口減の時代、人口3万人ぐらいの「まち」が、人の顔がみえていいと思う ●農家さんら旧住民と都市型住民のふれ合いが大切。住民のあたたかさ ●イベント ●人とのつながり ●人の優しさ ●住民が優しい ●人 	<p>▼人・コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商店街 ●駅前商店街の空店舗が問題 ●若山台などのエレベーターなし住宅は空き家になりやすい。コミュニティによる支援が来ているか。 ●今後増えると思われる空き家問題 ●子どもが遊べる場所 ●子ども連れでも行けるお店が少ない ●学生が自習できるスペースが少ない ●地元の人と新規参入者のマッチング ●マッチング ●転入者と古くからの住民の間のギャップ
<p>▼自然・人間との共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都市農業ができるのが魅力。駅ホームから見える田畑で行われている「さといもほり」イベントがコミュニティになっている ●自然 ●景観（山がすくそば） ●住宅の近くに田畑がある ●地下水 	<p>▼自然・人間との共生</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人口減・世帯減の時代、開発計画は進めるべきでない。高層マンションはこれ以上いらない ●山が見えなくなる高くて大きな新しいマンション
<p>▼アクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交通の便が良い（鉄道・高速道路入口） ●交通の便 JR・阪急・高速道路など 	<p>▼行政のPR不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「何を」「誰に」を明確にしたPR ●知名度がイマイチ。魅力を外部へ発信するのがへただった ●広域行政
<p>▼その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平和 	

Bグループの検討結果

よいところ・魅力	改善点・課題
<p>▼自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然（山・水） ●地下水 ●自然の豊かさ ●水と緑 ●自然と人との共生 ●自然がある ●自然が多く空気がきれい ●農地が残っている 	<p>▼子育て・施設など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふれあいセンターを子どもが使いにくい ●子育て世代に冷たい ●娯楽施設が少ない ●子どもが遊ぶところが少ない ●子育ての環境 ●体育施設が少ない
<p>▼人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人とのつながり ●人とのつながりが強い ●住民同士のコミュニケーション ●コミュニティの交流 	<p>▼ボランティア・PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若い人のボランティア不足 ●PR不足 ●ボランティア活動のPR
<p>▼島本町の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平和 ●平和（治安がよい） ●治安がよい 	<p>▼行政など</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期的な視点がなく変化を座視するだけ ●人口増に対する長期的な視点 ●高齢化対策
<p>▼お店</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小さなお店が多い ●個性的な人・お店 ●知られていないだけで良いお店が沢山あること 	<p>▼移動手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ●町内移動手段が少ない ●町内の交通（公共）
<p>▼その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交通手段が多く便利 	<p>▼その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●旧住民と新住民の交流が少ない ●町の資源を生かしきれていない ●普段からワークショップがあっても良いのでは ●空き家対策 ●路上喫煙 ●マンションつくりすぎ



Cグループの検討結果

よいところ・魅力	改善点・課題
<p>▼自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自然、水に恵まれている ●豊かな自然と水が残っている ●豊かな自然があるところ ●自然がたくさん残っている ●きれいな川（水無瀬川）がある ●三川合流など景色がよい ●“水とみどりのしまもと”の印象に駅前風景が大きく貢献している ●J R島本駅ができた ●日帰りで遠くに行ける場所が多い 	<p>▼環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ●景観や自然豊かな魅力の活かし方、PR のやり方 ●魅力のP R ●山崎のポテンシャルを生かしきれていない。文化の理解（観光客いっぱいなのに） ●子どもたちがあまり自然を楽しんでいない ●開発のゾーニング（緑を残すところ、生活に便利な所、商・工業）が散漫 ●文化財保護 ●道路整備 ●道の渋滞
<p>▼人・地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ●人が良い（優しい、マナー、町に対する想いと意識） ●ずっと住み続けている人がいるところ ●人と人とのコミュニケーションがしやすい ●個性的な店が“実は”けっこうある ●子育て世代が引っ越してきても住みやすい ●お祭りや清掃など町内イベントの参加率・本気度が高いところ ●地域活動、ボランティア活動、住民活動が盛んなところ 	<p>▼人・地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ●気軽に町のことを話せる場がないこと ●まちづくりに町の魅力を活かしきれていないところ ●住民の高い意識を行政とうまくつなげられていない ●ボランティア等の活動している人々の横のつながり（行政の助けが必要か？） ●青少年活動を進めようとしていない ●人口増はどう対応する？ゴミ処理場の問題等 ●町の広報誌、ページ数、前の方が読みやすかった
	<p>▼設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どものあそべる場がない ●人はマル。設備はイマイチ ●町立体育館施設が古い ●中学の校舎建物が古い ●町立プールがなくなって替わりの住民が使えるプールがない ●キャンプ場がなくなった、プールもなくなった <p>▼高齢化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在高齢化率↑だがどんな策があるのか？ ●独居高齢者の方への災害時通報は良いが、避難方法が…

3

ワークショップ内容（第2回）

各グループの検討結果（⇒まちの将来像、必要な取組などを検討・発表）

A グループの検討結果

分野	将来像	必要な取組
住民と行政	<ul style="list-style-type: none"> ●町の施策が住民全体に納得されていること ●住民が望むことを実現している町 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちの町がこうであってほしいという意見・アイデアを出す。+そういう場をつくってほしい ●マルシェを通じた交流・活性化 ●住民によりそって取り組みを進める行政であってほしい
自然と開発	<ul style="list-style-type: none"> ●今のままの山、畑、田んぼ、住宅があるとよいと思う ●駅前に高層ビルが林立するのではなく、島本は特別だと思われる田畑の緑が広がる町 ●都市農業の出来る空間のある町「地産地消」 	<ul style="list-style-type: none"> ●地元農民（農業者）と都市型住宅の架橋になる（農地で子ども含めた農業イベント） ●町を美しく。年長者には負担が大きいがおしゃべりを兼ねて花や木を植える。清掃をする ●企業、事業所は地元住民に利益を還元する（イベント等に参加） ●UR空部屋を利用して、コミュニティスペースにする（集まって食べる、語る） ●農家レストランをつくる ●既存の住宅を盛り上げてほしい ●これ以上のマンションはいらない
住民・コミュニティ	<p style="text-align: center;">子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもが遊べる場所がたくさんある町 ●子育て世代も高齢者も住みやすい町 ●子どもが良い環境で過ごせる、保育所、幼、小、中学校、体育、芸術、音楽を楽しむ施設があれば良いと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ●未就園児の保護者が連れていきやすい児童館のような施設が欲しい ●待機児童を把握し対応していくことが大切

分野	将来像	必要な取組
住民・コミュニティ	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ●道路が車いすには通りにくい所が多いので、整備してほしい ●若い人が入ることで高齢者とつながる ●ゴミ出しが困難な家庭に若い人のゴミ出しボランティアの制度をつくったら良いのでは？ ●島本の農業者の生活史のききとりをする ●農業とコミュニティのリンク
	施設利用	<ul style="list-style-type: none"> ●観光にふるさと島本案内ボランティアの活用 ●病院に行政より資金援助を行い半官半民で運営する
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ●防災についてしっかり考えられた町 ●災害時にご近所同士で助け合える町 ●人口増に伴う交番の追加設置

★Aグループの発表概要

- 主な検討テーマは「住民と行政」、「自然と開発」、「住民とコミュニティ」の3点
- 「住民と行政」… 住民がまちづくりにどう関係していくか、行政が住民との間の対話をどのように実現していくのかといった、住民と行政の距離感、信頼関係が問題
- 「自然と開発」… 島本町の魅力である自然が、開発によって次第に失われていくことに対する懸念がある。高齢者、防災などの問題を含め、自然と人間が共存して生活する視点が必要
- 「住民とコミュニティ」… 子育て、高齢者、防災が重要。行政とタイアップして、安心して暮らせるコミュニティをどのように作っていくかが課題
- 山、田んぼ、畑があって、住民が住んでいるまちが島本町の現状。このままの自然が見たい。住民が思っていることを、行政が実現していくことが本来の姿。みんなそれを望んでいると思う。



Bグループの検討結果

	将来像	必要な取組
人に優しいまち	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもがもっと活発に遊んでほしい ●子育てに優しい町 ●お年寄りだけでなく若い人も得がある、子育て世代がずっと居住したいと思える町になってほしい ●高齢者だけでなく子どものことも考えた町 ●歳を重ねても町内を自由に動けるよう、<u>コミュニティバス</u>を運行してほしい 	
自然を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ●物質的な面だけではない、心豊かな暮らし ●<u>農地の保全・地産地消の推進</u> ●<u>自然環境保全が図られた山野</u> ●<u>都市農業を主とするクライナガルテン都市</u> ●自然を豊かにする政策を積極的にうつ ●人の生活の場と自然の場を共存させる ●居住区と山野のゾーニングされた町 	<p>若い人を引き込むには…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ターゲットは20～30代 ●学校行事にしちゃう!! ●つくりすぎたら⇒保存食講座!! ●お金を稼ぐ農業はできないけど、“自分たちの分”はつくる・わけあう ●ガールスカウト・ボーイスカウト ●富士山の近くみたいにフィールドアスレチックをつくって、子どもが楽しく自然と触れ合えるようにする <p>●<u>市街地のこれ以上の拡大をとめる</u></p>
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>治安がいい町</u> ●安全・安心のまち（コミュニケーションの取りやすいまち） 	
元気があふれるまち	<ul style="list-style-type: none"> ●<u>商店街が元気!</u> ●いまよりもにぎわっている町 ●町の中だけで事足りる（服・娯楽）ようになってほしい ●町内のイベントで町全体が参加して楽しめる町 ●Y・Yワールドや夏まつりのようなボランティア団体を知らせてもらえるやりがいのあるかんじ 	<p>若い人が主導権をにぎる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●商店街の人が先生役で起業講座 ●仲間をつくる。同じ思いの人をつくる ●ツイッターで情報発信!! ●各地域、各世代のコミュニティがとれるよう自治会活動やPTA活動等にもっと援助を多くしてほしい

皆の意見をきく、反映する

- ワークショップのような形で普段から自由に意見の言える場をつくり、住民からの思いを集約し、計画等に使ってほしい
- 住民意見が反映される風通しよい町

★Bグループの発表概要

- 治安がよいまち。一方、もっと賑わってほしいとも思う。商店街をもっと活発にしていきたい。
- そのためには、高齢者だけでなく、若い人たちが積極的になることが大切。ただ、そのために何をしたらよいのかがわからない。インターネットを通じて情報を発信し、人を集めたり、若い世代の起業を支援する機会をつくるのが重要。
- **子育て世代にやさしいまちになってほしい。**
 - 実現のためには、自然を活かすこと、賑わいを創出すること。
 - 「自然を活かす」… 自然を残すだけでなく、積極的に活用
- 将来像や取組を実現する方法は、「住民意見の反映」。住民意見に対する町からの反応が欲しい。そうなれば、住民は参加できる。



Cグループの検討結果

分野	将来像	必要な取組	
		自分のできること	行政（団体）へのお願い
自然	<ul style="list-style-type: none"> ●魅力（自然環境）を活かす景観に配慮したまちづくり ●島本の魅力、水と緑を活かす景観づくり ●歴史を町の人知っている⇒外へのPR、ブランド力 ●自然が豊かなまち ●町がきれいであること ●数年前と比較して田んぼ等が少なくなり、マンション建設が目立っているが、自然はできる限り残してほしい。 ●水と緑。島本の宝はコレ！ ●里山風景は島本の魅力、ブランド力 	<ul style="list-style-type: none"> ●若い人たちに自然や文化を楽しんでほしい。島本を好きになってもらいたい ●現状を知ること続ける ●自然（里山・河川敷）を活かした活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境・景観の重要性を行政が認識すること ●緑・農を活用する・残す努力を ●今すでにある資産（自然・農の風景・人情・治安）を大切にしまちづくり ●子どもたちが触れられる自然環境・設備 ●将来の適正人口をみすえたまちづくり ●自然（里山・河川敷）を活かした活動の推進
子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが安心して学校に通ったり遊んだりできるまち ●学校の設備が整っていてしっかり学習ができるまち ●のびのびと子育てができる環境・設備 ●子どもたちが元気に田畑や川や山で遊べる環境づくり 		<ul style="list-style-type: none"> ●保護者同士たくさん子ども達がつながれるコミュニティづくり ●子育てコミュニティづくり ●子育て情報の充実、保育所・学校の案内 ●学校環境、行事の向上、地域との連携 ●大人と子どもと一緒に遊べる場所を多くつくる ●学校校舎、幼稚園・保育園園舎の定期的な設備の点検 ●子どもの居場所、遊び場所づくりをまちづくりに入れる ●不登校の子どもをなくす取り組み ●勉強嫌いの子どもを減らす取り組み ●教育幼児施設の整備 ex 拡大 耐震化 ●青少年センターや野外活動センター、キャンプ場
安心	<ul style="list-style-type: none"> ●台風・地震等災害の際、今配布されているマップより安心して避難できる建物が増えていたら良いと思う ●治安がよい ●子供から年長者、障害者、そしてまわりの大人の皆が安心して暮らせるまちになって欲しい ●2025年、団塊世代の人が75歳になっても医療や介護が対応出来る病院や包括の充実した町になって欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ●通学路に危険な場所がないか安全確認 ●睡眠、食事、運動に気を付け、医療費↑にならないよう、保険↑につながらないよう心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ●災害がおこった時に安全に避難ができる仕組みづくり

分野	将来像	必要な取組	
		自分でできること	行政（団体）へのお願い
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ●顔がみえる コミュニティが盛ん ●住民同士のつながりがたくさんあり、助け合えるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ●隣同士、地域同士の助け合い ●自分の住んでいる地域とのつながりから徐々に町へ広げることを心がける ●異年齢交流 地域での子育て・介護 ●私達の思いを子供達に受け継いでほしい。グループ活動のできる場所をつくっていききたい 	
住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ●住民参画のまち ●住民意見が反映されるまち ●まちづくりに参画できる ●行政（大阪府含む）が住民が訴える魅力を認識すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップへの積極的な参加 ●意見を上げる「私の声」 ●傍聴 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民の意見を吸い上げる仕組みづくりと努力 ●住民意見を反映する仕組みづくり（形だけでなく）
まちづくり		<ul style="list-style-type: none"> ●観光協会をつくり町をにぎやかにしたい ●町外の方々に島本町に来て、いい町を発見してほしい ●地域のイベントに参加 ●魅力の発信と同時に課題の共有 ●良い所を「良い！」と声をあげる（単なる田舎ではない） ●町づくりに関心を持ち、声を届ける ●行事の盛り上げ ●郷土史を知る。地域史聞き取り 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客目線に立った整備・工夫（案内板、パンフ、山崎に目を向ける） ●地域でがんばってる人を応援、PR、紹介 ●地域の既存商店街の活性化 ●文化財保護

★Cグループの発表概要

- **魅力**… 自然、水と緑、農のある風景、人がやさしい、コミュニケーションが盛ん、まちづくりに関心のある人が多い、交通の便がよい
- **課題**… 保育所不足、遊び場がない等の子育て環境。一番多いのはまちづくりの問題。今のまちづくりが進むと景観が損なわれ、水と緑のイメージが崩れるのではないかといった懸念。
- **将来像**… 自然と安心安全。今あるものを残していきたい。
 - 将来像の実現に向け、住民意見の反映、住民参画の推進が必要。子どもの環境、自然環境の保全に重点。
- 住民と行政が継続して魅力をつくっていくかがポイント。水と緑が美しいまちの再認識が魅力につながる。

